



# 第66回全国消防技術者会議の開催について

## 消防研究センター

消防研究センターでは、全国の消防技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、聴講者と討論を行う「全国消防技術者会議」を毎年開催しております。本会議では、消防関係者による一般発表に加え、平成30年度消防防災科学技術

賞の表彰式および受賞者による口頭発表・展示発表、さらに、消防研究センターにおける研究成果等を発表する「第22回消防防災研究講演会」も併せて実施します。皆様のご参加をお待ちしております。

### 記

1	開催日	第1日 平成30年11月21日(水) 第2日 平成30年11月22日(木)
2	場所	ニッショーホール(日本消防会館) 東京都港区虎ノ門2-9-16
3	定員	両日とも650人(参加費無料)
4	内容	<p>【11月21日(水)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特別講演 講師：吉田信彌氏(東北学院大学 教授) 演題：「安全知識をどのように共有するか」</li> <li>●平成30年度消防防災科学技術賞表彰作品の発表・表彰式</li> </ul> <p>【11月22日(木)】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●消防関係者による一般発表</li> <li>●第22回消防防災研究講演会 テーマ：「大規模物流倉庫火災」 内容：2017年2月16日、埼玉県三芳町の大規模物流倉庫において発生した火災は約45,000㎡を焼損し、鎮火までに13日を要する大きな火災となった。</li> </ul> <p>倉庫は従来ものを保管する場所であったのに対して、近年の生活様式の変化により、多種類の商品を保管、仕分けし、小分け発送を行う物流の拠点へと変化したものが現れている。そのため、従来は倉庫内に多くは見られなかったコンベヤが縦横に走り、多くの人が常時内部で働くという新しい形態となっている。このような中で起きたこの火災は、窓の少ない建物、内容物の多様さ等から長期の活動を余儀なくされた。</p> <p>この火災は、消防法第35条3の2に基づく消防庁長官が自ら火災原因調査を行う事故となり、消防研究センターから延べ132人の職員を投入し原因調査業務にあたった。消防設備が規定に基づき設置されている建物で、なぜこのような大きな災害になったかを検証するため、消防庁・国土交通省は「埼玉県三芳町倉庫火災を踏まえた防火対策及び消防活動のあり方に関する検討会」を開催し、委員会より各種の提言がなされた。</p> <p>この講演会では、契機となった2017年発生の大規模物流倉庫火災の状況・活動、それを受け再発防止に向けた行政、事業者の取り組み、研究活動について講演を行う。</p>
5	プログラム	消防研究センターのホームページ( <a href="http://nrifd.fdma.go.jp/">http://nrifd.fdma.go.jp/</a> )をご覧ください。「イベント情報」欄の「【技術】第66回全国消防技術者会議」のリンクをクリック)。逐次詳細なものに更新します。
6	参加申込み方法	消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。申込みを取り消す場合又は申込み内容を変更する場合にも、このサイトをご利用ください。 なお、上記の方法が難しい場合は、下記にお問い合わせください。
7	参加申込み期間	8月13日(月)から11月18日(日)まで (但し、各日定員になり次第締め切ります。)
8	問い合わせ先	消防庁 消防研究センター 研究企画室 〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3 TEL:0422-44-8331 FAX:0422-42-7719 E-mail: 66_gijutsusha@fri.go.jp